農作業 テクニカル ダイアリー
Agricultural-work technical diary

夏ネギ

やさいの里営農センター
営農指導員　初芝 浩

栽培の現状

平成27年産の夏ネギの生育を振り返ると、3月以降、降雨の日が少なく、乾燥した日が続いたため、太りの遅れた圃場が見られました。また、春ネギから引き続き、サビ病が多発しており、葉の確保が難しい年でした。

夏ネギは市場からの需要が多く、ここ数年は単価も安定しており、夏野菜としては比較的収益の高い品目です。市場からは特に5～6月の出荷を求められており、JA山武郡市では作付けの推進をしている品目です。しかしながら、秋冬ネギに比べ在圃期間が短く、気温の上昇に伴う品質の劣化も早いことから、一戸当たりの栽培面積の拡大は難しいのが現状です。そのため、多くの方が少しずつ栽培すれば産地としてロットを増加することが可能となります。

収穫期別作型のポイント

作型別の栽培暦は表❶を参照にしてください。

5月どり（大型2条トンネル栽培）

5月出荷には大型2条トンネルを利用します（図❶参照）。小型トンネルに比べて日中の高温時間を長く保つことができ、抽台の発生を少なくすることができます。

被覆期間中の生育を確保するため、基肥には緩効性の肥料（エコロング140日タイプまたはホワイトエース等）を使用し、チッ素成分で17㌔㎡を目安に施用します。また、追肥は高度化成S842を3回に分けて、チッ素成分で12㌔㎡を目安に施用します。

6月どり（小型1条トンネル栽培）

6月中旬以降は単価が下がる傾向があります。そのため、コストの安い小型1条トンネルで栽培します（図❷参照）。

施肥は大型2条トンネル同様に施用します。定植後、被覆までに極端な寒さにあたると欠株が発生することがあります。極端に乾燥している場合を除き、できるだけ早く被覆します。

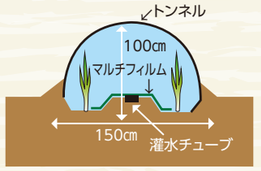
7月どり（露地栽培）

高温下で太りの良い品種を使って、抽台の危険性がない時期に播種し、7月に収穫する作型です。一般的には「夏扇パワー」など太りの良い品種を使用します。

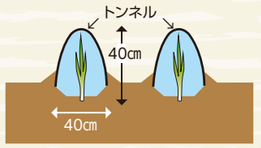
播種時期は早ければ早いほど抽台する危険が高まります。特に「夏扇4号」など早生品種を使用する場合は、絶対に早蒔きは避けてください。

基肥はトンネルの作型と同様に多めにします。3月上旬まで生育は緩慢ですが、3月中旬以降は急激に生育するので追肥量を多くします。

図❶ 大型2条トンネルの模式図



図❷ 小型1条トンネルの模式図



表❶ 作型別栽培暦

作型	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
大型（2条）トンネル栽培	春扇	●	▲	∩				∩ V V V	■ ■ ■		
小型（1条）トンネル栽培	春扇 SK-108	●	▲	∩				∩ V V V	■ ■ ■		
無被覆	夏扇4号 夏扇パワー			●		▲		V V V V	■ ■ ■		

●：播種　▲：定植　∩：トンネル被覆　V：中耕、土寄せ、追肥　■：収穫

タマネギ

大網経済センター
営農指導担当者　今関 利樹

27年産を振り返って

今年度のタマネギは3月～4月にかけて日照時間が少なく、気温が高めに推移する日が多かったため、病害発生に適した気候条件になりました。また、降雨が断続的に続いたため、作業計画が立てづらく、防除適期が難しい年でした。特に、べと病の発生した圃場が多かったと思われます。

べと病について

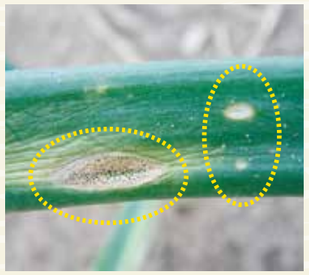
べと病は湿度90～100%、温度10～20℃（最適温度は15℃）の条件を好みます。この2つの条件が揃えば数時間で感染し発病します（写真❶参照）。他の病害に比べて、感染が非常に速いという特徴があります。発生傾向としては、圃場の一部（排水性が悪い等の影響で草勢が弱いところ）にスポット的に発生した後、圃場全体に広がります。また、多湿条件を好むので、降雨後に一気に広がる特徴があります。

その他病害虫対策

べと病以外にも近年、「ボトリチス葉枯症」「黒点葉枯病」などの発生が多くなっています（写真❷参照）。この2種類の病害は、べと病と発生時期、発生条件、発生箇所が同じなので、あわせて防除することが可能です。その他の病害虫についても圃場をよく確認し、予防・初期治療を徹底しましょう。

病害対策について

べと病については、1度発生すると防除が困難になりますので、病害が出る前に予防効果のある農薬を散布するよう心がけてください。発生してしまった圃場では、治療効果のある農薬を葉の裏まで防除漏れがないように散布し、病害が拡大しないようにしましょう（表❷参照）。



写真❷
右：ボトリチス葉枯症の病斑
左：黒点葉枯病の病斑

写真❶　べと病

6月の分析経過について

残留農薬分析点数	多成分一斉分析	合計7点
		大玉スイカ……2点
		メロン（ちばエコ）……1点
		かぼちゃ……1点
		青はぐら瓜……1点
		ししとう……1点
		かぼちゃ……1点（緑の風）

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 …… 合計71点

表❷　べと病に予防・治療効果のある薬剤

	薬剤名	倍率	使用時期
予防剤	ジマンダイセン水和剤	400～600倍	収穫3日前まで
	ダコニール1000	1000倍	収穫7日前まで
	Zボルドー	500倍	—
治療剤	レーバスフロアブル	2000倍	収穫前日まで
	アミスター20フロアブル	2000倍	
	ホライズンドライフロアブル	2500倍	収穫3日前まで
	ランマンフロアブル	2000倍	収穫7日前まで
	プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	